

## 過去の南海トラフ地震とその記録

| 震 災     | 月 日         | 状 況   |
|---------|-------------|---|
| 白 鳳 地 震 | 684年11月29日  | 物の破壊、人畜の死傷多く、土佐の田畑12平方キロメートルが海となる。津波あり。<br>※南海・東南海・東海3連動型とされる   |
| 仁 和 地 震 | 887年8月26日   | 五畿七道大いに震う。近海津波来襲し、死傷者多し。  |
| 康 和 地 震 | 1099年2月16日  | 記述などなし。痕跡あり。  |
| 正 平 地 震 | 1361年8月3日   | 津波被害甚大。香美郡田村(南国市)の下庄正奥寺に高潮上がる。  |
| 慶 長 地 震 | 1605年2月3日   | 地震い大津波あり。死者5000人に上り、崎の浜、甲浦、阿波穴喰で浸死者続出。<br>※南海・東南海・東海3連動型  |
| 宝 永 地 震 | 1707年10月28日 | 有史時代最大の地震の潰家29000、死4900。津波は土佐にて20m余り。海辺の在家一所として残る方なし。高知では潮江、下知、江ノ口より、一宮、布師田、大津、介良、下田衣笠まで海となる。<br>※南海・東南海・東海3連動型 |
| 安政南海地震  | 1854年12月24日 | 地震、大津波で被害甚し。土佐、紀伊、阿波などで死者3000。土佐湾沿いの赤岡以西はすべて被害被る。<br>※南海単独 前日に東南海東海地震有  |
| 昭和南海地震  | 1946年12月21日 | 震害は四国、九州、近畿、中国、中部地方に及び、大津波来襲して全国で1330人の死者が出た。高知は震度5で午前4時19分に発震、地震後6波の津波あり。県下の死者670、不明9、傷者1836、家倒壊4834。<br>※南海単独 |



東日本大震災から8年が過ぎました。そう遠くない時期に起きることが予想されている南海トラフ地震について、今一度歴史を確認してみましよう。

上記のとおり、南海トラフ地震は過去に何度も起きています。多少の幅はありますが100年から150年周期で起きるとされています。また、記述からわかる限りでは、津波が来襲し、被害も出ています。

このように、過去に幾度と地震が起きており、今後も必ず起きることが予想される南海トラフ地震。過去の経験を活かし、同じような被害を受けないように準備することが大切です。

そして、地震災害を防ぐことはできませんが、被害を減らす「減災」は行うことができます。

町では、今年度も木造住宅耐震の補助事業、家具転倒防止対策および危険なブロック塀撤去などの補助事業、地区防災計画および避難所運営マニュアルなどの作成支援、自主防災組織への資機材整備補助事業など、関係機関と連携し、さまざまな対策を継続します。

## 防火・防災標語の受賞

黒潮消防署では、町内の小学校4年生から6年生を対象に「防火防災標語」を募集し、今回は198通の作品が寄せられました。

3月1日(金)に表彰式が行われ、第25回の最優秀作品は、入野小学校6年生の竹外心春さんの「地震きた 命を守れば また会える」に決定しました。

この防火防災標語は、黒潮消防署前に1年間掲げ、防火・防災の啓発に活用していきます。



お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎43-2188

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113